

平成18年5月19日
原子力安全対策課
(18-11)
<11時資料配付>

美浜発電所の低レベル放射性廃棄物の輸送について

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

美浜発電所の低レベル放射性固体廃棄物を、青森県六ヶ所村の日本原燃株式会社低レベル放射性廃棄物埋設センターへ輸送するため、低レベル放射性廃棄物専用運搬船「青栄丸」が美浜発電所に入港する。

輸送日程、輸送数量については以下のとおりである。

1. 輸送日程

平成18年5月22日	美浜発電所	入港予定
平成18年5月27日	美浜発電所	出港予定

2. 輸送数量等

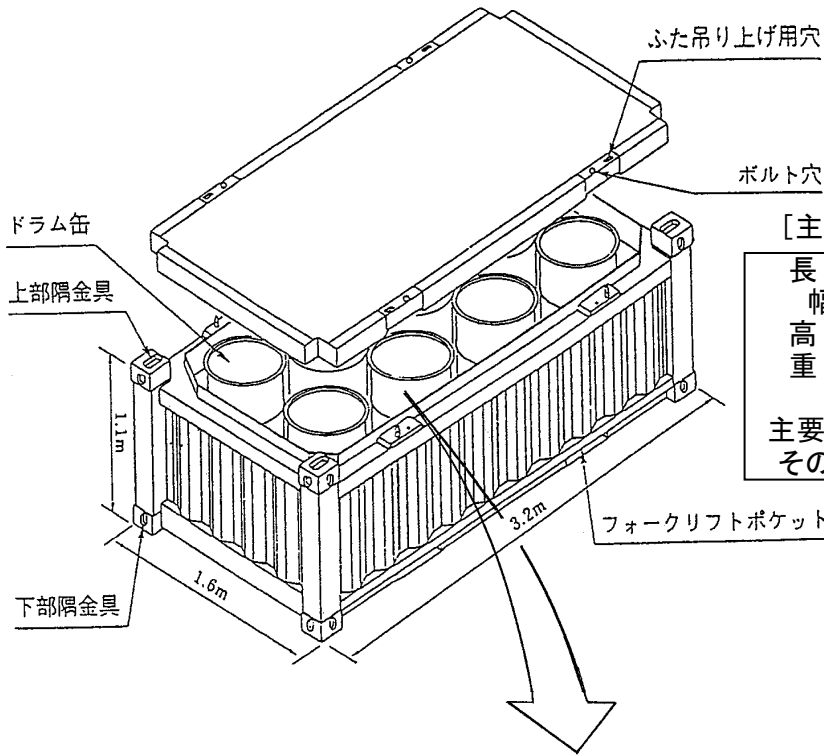
①輸送物

低レベル放射性固体廃棄物	ドラム缶数(200リットル)
充填固化体	1104本
均質固化体	136本

②専用輸送容器数： 155個

問い合わせ先(担当：小西)
内線2354・直通0776(20)0314

低レベル放射性廃棄物輸送容器概要図

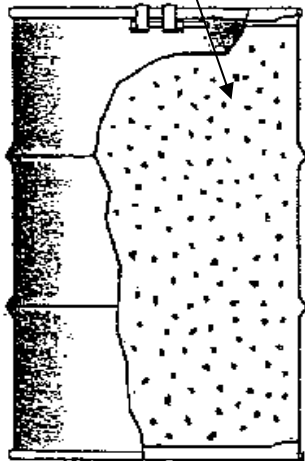


[主要諸元]

長さ	: 約3.2m
幅	: 約1.6m
高さ	: 約1.1m
重量	: 約1トン(空重量) 約7.5トン(総重量)
主要材質	: 炭素鋼
その他	: 200・ドラム缶8本収納可能

均質固化体

濃縮された廃液をセメントおよびアスファルトで固型化したもの



原子力発電所の定期検査時等の工事に伴い発生した低レベル放射性廃棄物で、濃縮廃液等をドラム缶にセメント、アスファルト等を用いて均質・均一に固型化したもの。

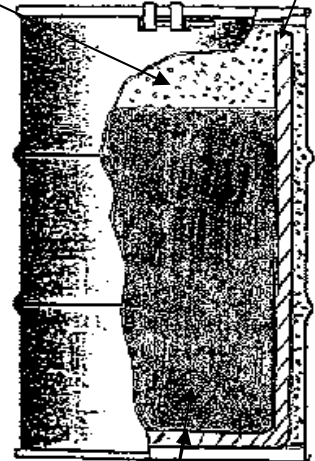
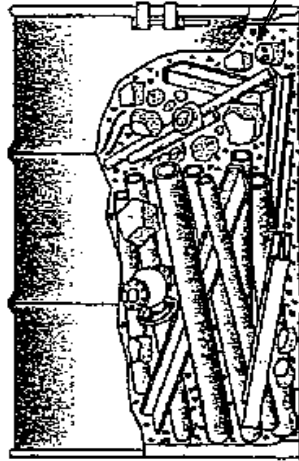
充填固化体

金属類、プラスチック類等をセメント系充填材(モルタル)で固型化したもの

金属類、保温材、フィルタ類等を溶融処理しセメント系充填材(モルタル)で固型化したもの

セメント系充填材(モルタル)

専用ルツボ(キャニスタ)



溶融処理した固体状廃棄物

原子力発電所の定期検査時等の工事に伴い発生した低レベル放射性廃棄物で、金属類、プラスチック、保温材、フィルタ等などの固体状廃棄物を種類毎に分別し、必要に応じて切断、溶融処理を行った後、ドラム缶に収納し、セメント系充填材を充填し固型化したもの。

低レベル放射性廃棄物専用運搬船（青栄丸）

青栄丸は、さまざまな安全構造を備え、一度にドラム缶約3000本（コンテナ約380個）を運ぶことができます。

①安全航海

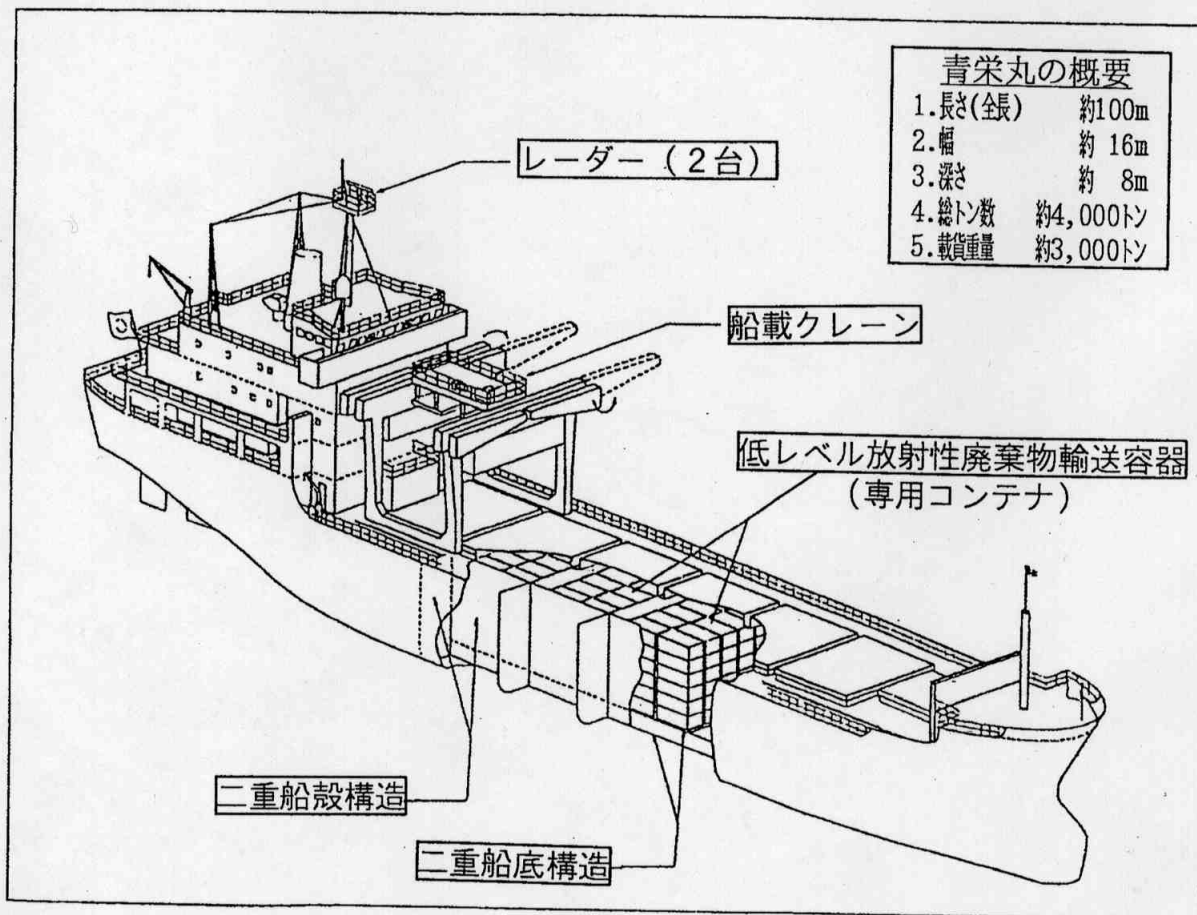
安全な航海をするため、航海用レーダー2台のほかに自動的に海の深さを測るシステムや衝突事故を未然に防ぐシステム等を備えています。

②頑丈な構造

船体の底面や側面を頑丈な二重構造とした、座礁や衝突事故にきわめて強い船です。

③放射線の遮へい

船倉を厚い鋼板やコンクリートで囲んで、放射線を十分に遮へいする構造に造られています。



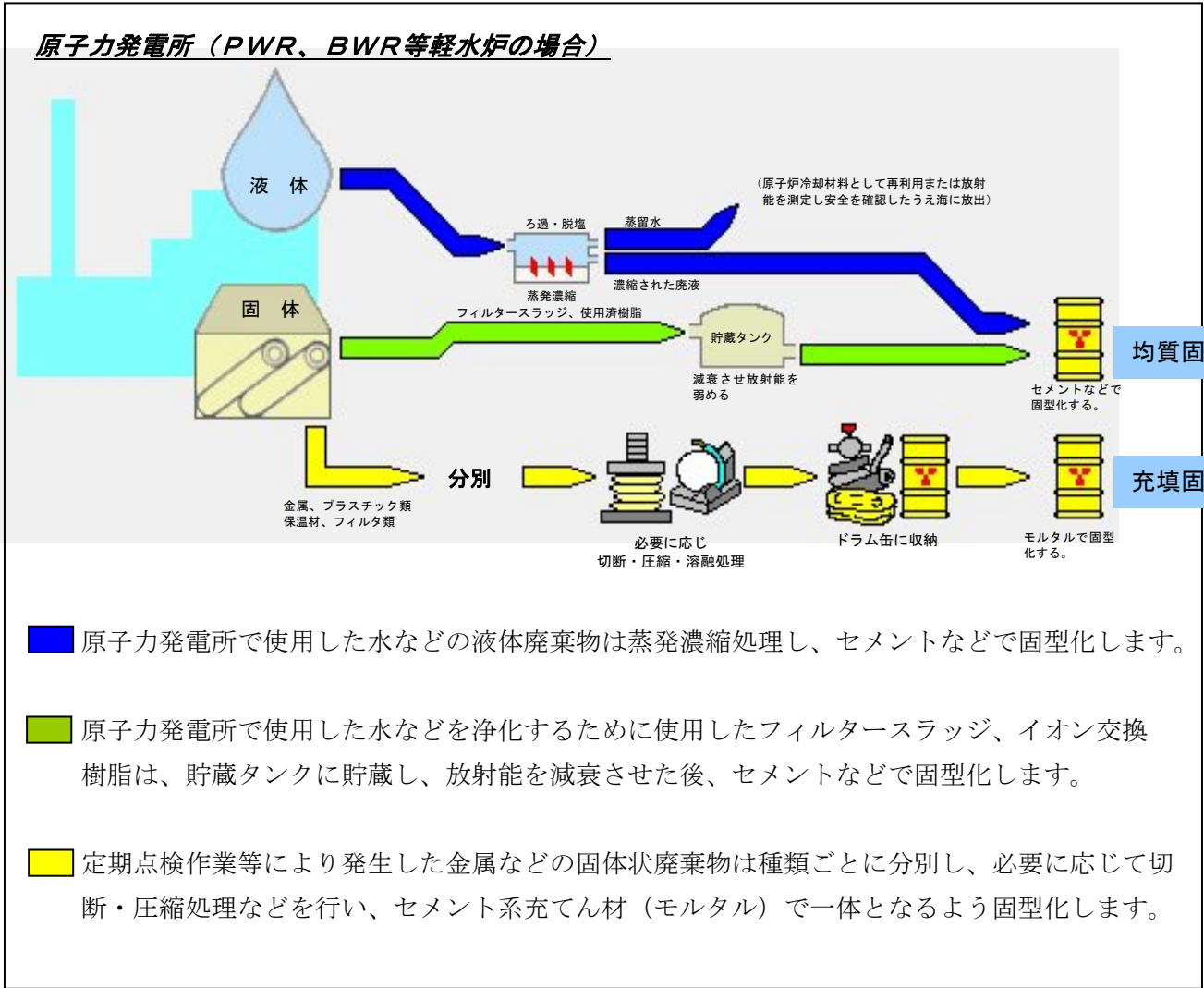
— 低レベル放射性廃棄物 (LLW) 搬出の概要 —

(日本原燃特作成資料引用)

低レベル放射性廃棄物

現在、六ヶ所低レベル放射性廃棄物埋設センターへ受入れる低レベル放射性廃棄物は、原子力発電所の運転に伴い発生する放射線レベルの低い廃棄物をセメントなどで固型化したものを対象としています。

埋設施設に搬出するための処理方法



今回輸送対象

均質固型化体

～1号埋設施設に埋設する廃棄体～

原子力発電所の運転に伴い発生した低レベル放射性廃棄物であって、濃縮廃液、使用済樹脂などをドラム缶にセメント、アスファルト、プラスチックを用いて均質・均一に固型化したものです。

●固型化方法例

濃縮された廃液をセメントで固型化したもの



充填固型化体

～2号埋設施設に埋設する廃棄体～

原子力発電所の運転に伴い発生した低レベル放射性廃棄物であって、金属類、プラスチック、保温材、フィルタ類などの固体状廃棄物を分別し、必要に応じて切断・圧縮処理などを行い、ドラム缶に収納した後、セメント系充てん材 (モルタル) で一体となるよう固型化したものです。

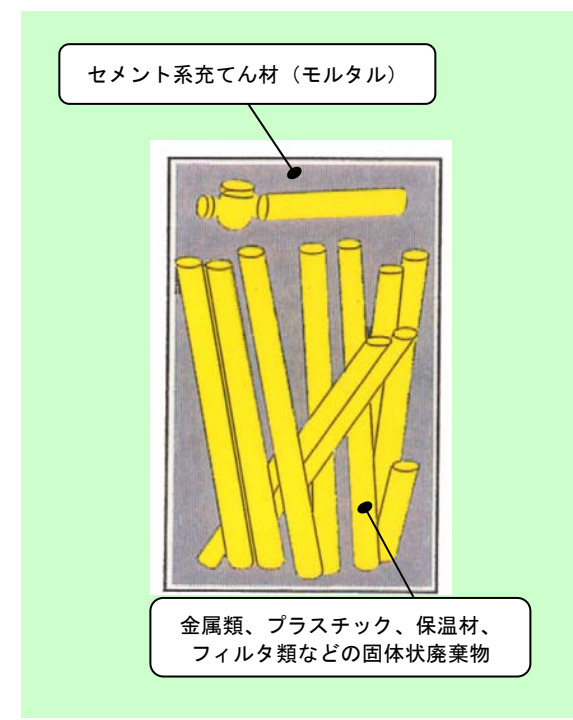
●固型化方法例

金属類などを収納し、セメント系充てん材 (モルタル) で一体となるよう固型化したもの



(模擬廃棄体)

●廃棄体概念図



保温材・フィルタ類などを圧縮し、セメント系充てん材 (モルタル) で一体となるよう固型化したもの



(模擬廃棄体)



日本原燃 (株) 六ヶ所低レベル放射性廃棄物埋設センター



専用船「青栄丸」で青森県むつ小川原港まで海上輸送します。